

山鹿市学校給食施設再編整備基本構想・基本計画【概要版】

令和6年（2024年）3月

本計画は、施設の老朽化が進む本市の学校給食施設について、適正な食数・施設の再編に関する指針を示すことを目的に、山鹿市学校給食施設再編整備基本構想・基本計画（以下、本計画という）を作成しました。以下の構成で本計画の概要を示します。

1. 山鹿市給食施設の現状と課題
 2. 給食施設の基本方針
 3. 建設候補地の検討と再編方針
 4. 施設の概要及び新給食センター導入計画
- 【参考】学校規模適正化等協議会の経過

1. 山鹿市給食施設の現状と課題

（1）施設の老朽化	・建設後30年を超えた施設は8施設。老朽化が進行し、施設の更新が課題
（2）衛生面の改善	・食の安全や衛生上の観点からドライ運用方式の導入が必要
（3）効率的運用	・児童・生徒数の減少や学校の統廃合に伴う給食施設の効率的運用が求められる
（4）食育の推進	・食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付ける取組が必要とされる
（5）食物アレルギー対応	・食物アレルギーに対応するため、設備面の細かい配慮が求められる
（6）非常時対応	・災害時などの非常時の役割が求められる

2. 給食施設の基本方針

給食施設の現状と課題より、これから整備する給食施設の基本方針は以下のとおりです。

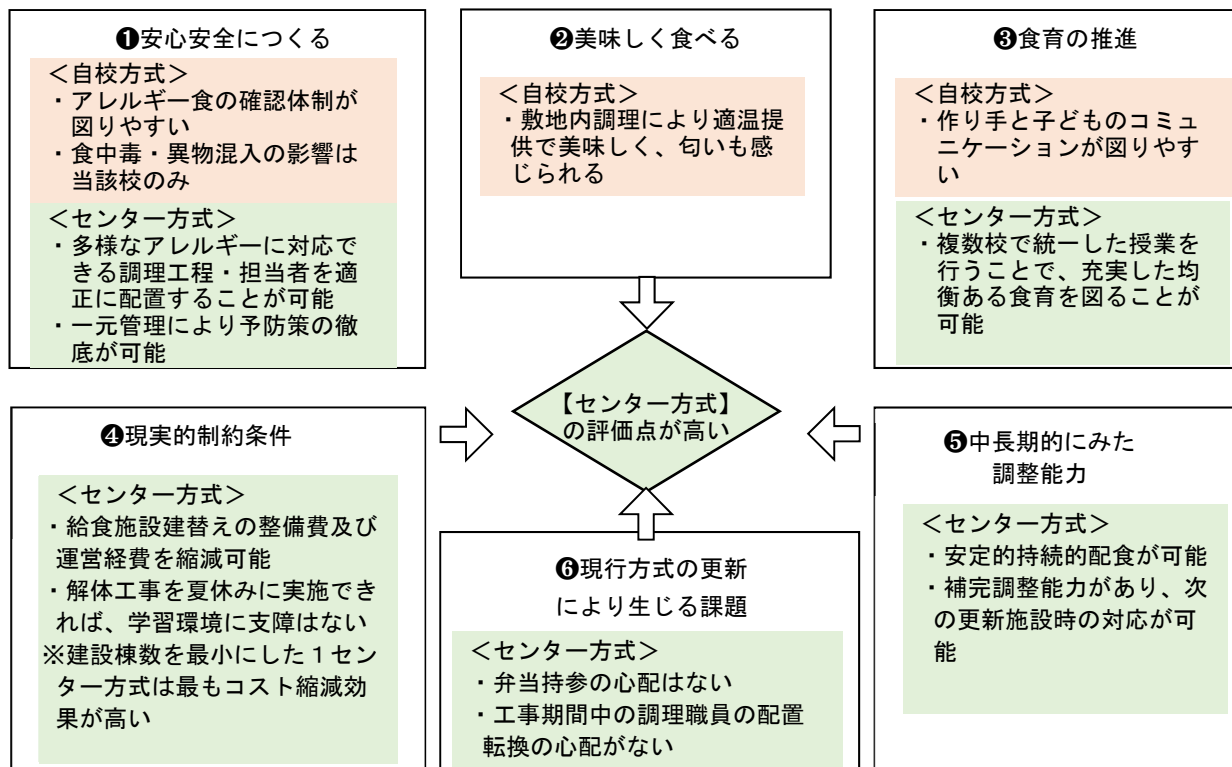
- （1）施設整備：ドライ運用方式を採用した建替えとします。

※ドライ運用では現在の約2～3倍の床面積が必要であり、躯体を再利用する改修は現実的ではありません。

- （2）対象施設：建設時から30年以上を経過する給食施設を対象とします。

- （3）整備方式：①～⑥の着眼点による評価の結果、センター方式が高い評価を得ました。

※下図は①～⑥の着眼点で、自校方式、センター方式について評価される点を記載しています。

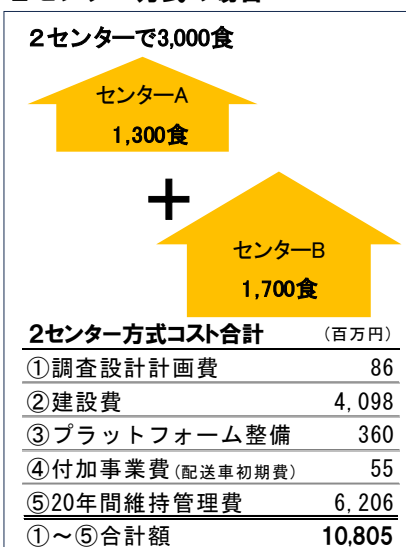


※整備方式（自校方式、センター方式）のコスト比較

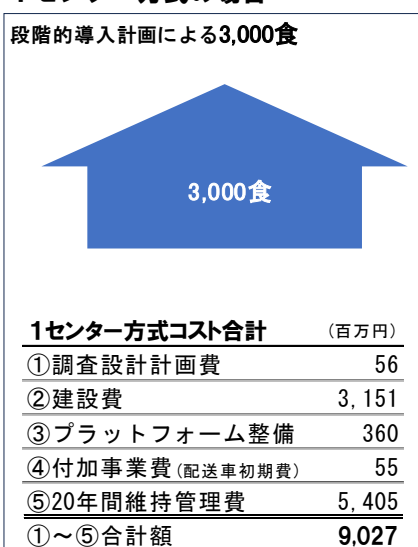
自校方式（ドライ方式建替え）の場合



2センター方式の場合



1センター方式の場合



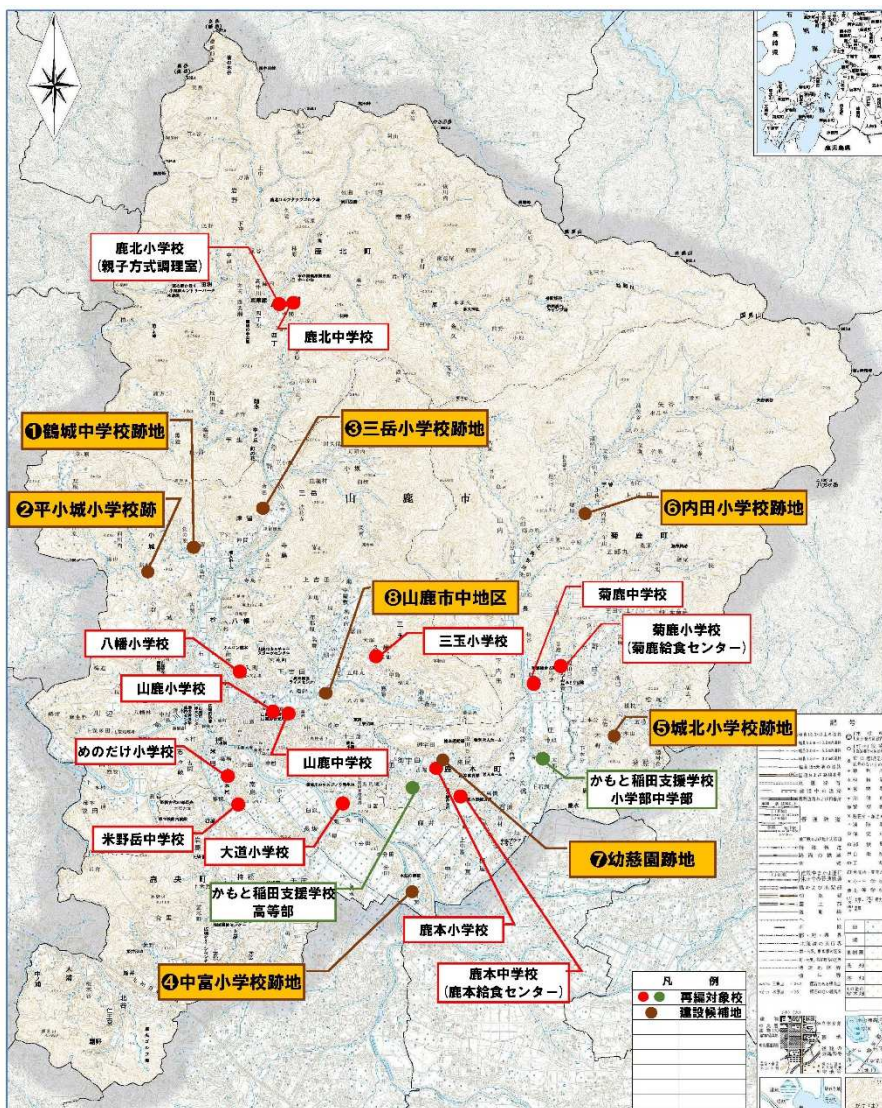
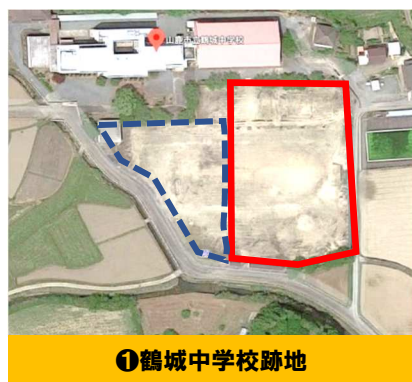
①：設計監理費、測量費、地質調査費など ②：建築・設備工事費、外構工事費、既存施設解体工事費など ③：配送先の学校受入れ施設整備費
④：配送車初期費 ⑤：光熱水費、施設・設備点検費、修繕・改修費、調理機器更新費

3. 建設候補地の検討と再編方針

（１）建設候補地

建設候補地を選定するため、敷地規模や用途地域に関する「法規制」、インフラ整備や配送条件による「施設条件」の他、災害区域等の「環境」、「コスト」、「個別要因」を評価軸とし評価します。候補地は廃校となった学校の有効活用としての7カ所と、民有地中地区を含めた8カ所です。

8か所の中で最も評価の高い候補地は鶴城中学校跡地という結果となりました。



(2) 再編方針

給食提供の基本的評価（安心安全・美味しさ・食育推進）、現実的な制約条件（自校方式での建替えでの用地不足など）、中長期的にみた調整能力、さらに1つの施設に集中させることで効果を発揮できる1センター方式を採用します。現在の給食施設の耐用年限に応じた導入計画を取り入れ配食数を3,000食とします。

整備方式	1センター方式
運用方式	ドライ運用方式
対象校	山鹿中学校区：①山鹿小 ②八幡小 ③三玉小 ④大道小 ⑤山鹿中 鹿本中学校区：⑥鹿本小、⑦鹿本中、⑧かもと稲田支援小中部、⑨かもと稲田支援高等部 米野岳中学校区：⑩めのだけ小 ⑪米野岳中 ⑫山鹿幼稚園 ※保育園等の場合、成長段階に合わせた給食提供を要するため、細かい対応は難しいが、幼稚園では一元的な対応で配食提供が可能
配食数	3,000食【耐用年限に応じた導入計画】
供用開始予定	令和10（2028）年9月 ※山鹿小を除く8校にてR10年供用開始（米野岳中は旧耐震基準の施設のためR10年供用開始）
対象校の整備	プラットフォーム（配送車動線確保整備含む）整備対象校： 山鹿小、八幡小、三玉小、大道小、めのだけ小、山鹿中、米野岳中、鹿本中、山鹿幼稚園
食育研修機能付加	見学コース、会議室等 ※食育学習を目的に見学等ができる機能を付加する
防災機能付加	災害時備蓄機能（24時間換気設備）及び応急給食機能 ※避難所での備蓄機能（規模及び換気等）が不足しているため一部を補完する
センター建設地	鶴城中学校跡地

4. 施設の概要及び新給食センター導入計画

(1) 計画概要案

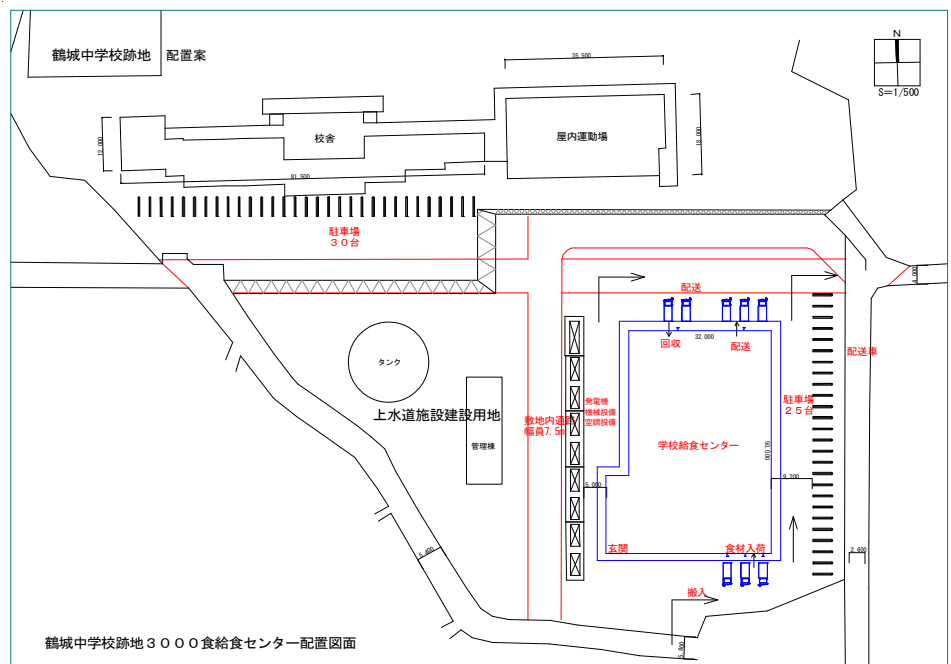
①敷地面積	6,400㎡（鶴城中学校跡グラウンド面積）
②建物構造	鉄骨造 2階建て ※食品工場という用途上、調理室の柱をできるだけ減らすこと、衛生面に配慮すること、調理や洗浄による蒸気が発生するため内装や構造躯体に影響を与えることなど、総合的な観点から合理的な構造を採用
③延べ床面積	2,100㎡
④概算事業費	32.5億円（調査・設計委託費、杭、受水槽、合併浄化槽、外構等含む建築費、厨房機器工事費含む） ※現時点での目安。規模・構造・内外装の仕上げ等により変動します。

(2) 施設配置案

鶴城中学校跡地のグラウンドの西側に上水道配水池が整備されます。配置計画では以下のことなどに留意します

- ①周辺道路より適切な位置に出入口を設ける（配送車両の錯綜が生じない）
- ②配送車両が建物外周を通行できるよう通路を設ける（建物保全等のため）
- ③十分なトラックヤードの確保（円滑に建物に接車するため）

など



(3) 整備スケジュールと新給食センター導入計画

基本設計・実施設計及び整備を進め、令和10年9月の供用開始を目指します。新センターから配食を受ける12校（園）についても、既存施設の解体、プラットフォーム整備、さらに配送車両動線の確保に関する設計条件を整理したうえで整備します。

3,000食の新センターの運用については、各校（園）配食数規模に応じた導入時期を示します。

区分	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031	R14 2032	...	R32 2050	R33 2051	...	R42 2060
計 画 設 計 整 備	基本構想 基本計画 位置決定	基本設計・実施設計		工事											
		確認申請		厨房設備設置	外構工事										
運 用						運用準備 ● 9月供用開始									
					運用年数	1	2	3	4	5	...	23	24	...	33
					センター 配食数	2,578 ▲	2,542 ▲	2,500 ▲	2,465 ▲	3,163 ▲ 山鹿小	...	2,398 ▲	2,567 ▲ 菊鹿小・中	...	2,275 ▲ 鹿北小・中
学校別配食数															
山鹿小	865	843	822	809	796	785	769	757	746	732		542	534		438
八幡小	222	217	212	208	205	202	199	195	193	190		143	140		118
三玉小	193	189	184	181	178	175	173	170	167	165		124	122		102
大道小	306	298	291	287	282	277	273	268	264	260		194	191		158
めのだけ小	296	289	282	278	273	269	265	260	256	253		190	186		156
山鹿中	772	753	734	723	711	699	688	676	666	656		488	478		396
米野岳中	158	155	151	148	146	144	142	140	138	136		103	101		86
鹿本小	483	471	459	451	444	436	429	422	415	408		301	295		242
鹿本中	230	224	219	215	212	208	205	201	198	195		145	143		118
福田(小中)	71	71	71	71	71	71	71	71	71	71		71	71		71
福田(高等)	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47		47	47		47
山鹿幼稚園	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50		50	50		50
新センター 対象配食計	3,693	3,607	3,522	3,468	3,415	3,363	3,311	3,257	3,211	3,163		2,398	2,358		1,982
菊鹿小	218	213	207	204	201	197	194	191	188	185		137	134		111
菊鹿中	121	118	115	114	112	110	108	107	105	104		79	77		65
鹿北小	140	137	134	132	130	128	126	124	122	120		92	90		77
鹿北中	70	69	67	66	65	64	63	62	61	61		47	46		40
将来導入検討 校配食計	549	537	523	516	508	499	491	484	476	470		355	347		293
全施設 配食数	4,242	4,144	4,045	3,984	3,923	3,862	3,802	3,741	3,687	3,633	...	2,753	2,705	...	2,275
児童生徒 ※5	3,690	3,592	3,493	3,432	3,371	3,310	3,250	3,189	3,135	3,081		2,201	2,153		1,723
教職員※6	384	384	384	384	384	384	384	384	384	384	...	384	384	...	384
支援学校・ 幼稚園※7	168	168	168	168	168	168	168	168	168	168	...	168	168	...	168

※1: R5年の数値は5月1日現在の学校の児童生徒数及び教職員数（調理職員含み、サポートティーチャーを除く）。
 ※2: 将来の児童生徒数はH30年12月発表『日本の地域別将来推計人口』を基に独自に推計。2045年以降の推計は2035～2045年の年平均減少率にて推計。
 ※3: 配食数の推計において、教職員数、かもと福田支援学校（児童生徒数及び教職員数）、山鹿幼稚園（幼児及び職員数）はR5年と同数とした。
 ※4: R10年度の再編校は八幡小、三玉小、大道小、めのだけ小、山鹿中、米野岳中、鹿本小、鹿本中、かもと福田支援学校（小中・高等部）、山鹿幼稚園
 ※5: 山鹿市立小中学校のみの児童生徒数
 ※6: 山鹿市立小中学校のみの教職員数
 ※7: かもと福田支援学校（小中学校・高等部）及び山鹿幼稚園の教職員数を含む配食数

【参考】学校規模適正化等協議会の経過

本計画の策定にあたり、4回の学校規模適正化等協議会を以下の内容で開催いたしました。

第2回協議会では、荒尾市・長洲町学校給食センターを視察し、その後の協議で出された意見により、12月に本市自校方式調理場と給食センターの現地調査を実施いたしました。

センター方式への理解を深めるために、自校方式の保護者説明会を1月に開催しました。

協議会	開催年月日	協 議 内 容
第1回	R5. 10. 24	学校給食施設の現状と課題、施設整備方式の評価について
第2回	R5. 11. 16	荒尾市・長洲町学校給食センター視察及び協議
(調理場現地調査)	(R5. 12. 11)	(山鹿小・大道小・鹿本給食センター調理場現地調査の開催)
第3回	R6. 2. 21	給食センターについて、今後の施設整備に係る方向性について
第4回	R6. 3. 18	今後の施設整備に係る方向性（候補地、規模等）について

OR6. 1. 23, 25, 30: 山鹿中校区・米野岳中校区への保護者説明会の開催